

地域住民の特技を披露！坂元文化展

11月5～6日に坂元親子会館で坂元文化展が開催されました。文化展には地域住民の書道や絵画、写真、木製の小物など約50点の作品を展示。坂元区の中島信行区長は「近所の人の特技などを知ることがコミュニケーションの一助になれば」と話しました。



鎮魂と地域の安全を祈る伝統行事

10月30日、伊集院源次郎公例祭が開催されました。大正2年に発生した東麓の大火を契機に、悲劇の武将、伊集院源次郎の鎮魂と地域の安全を祈願する行事として100年以上続いています。神事後、地域住民による曳い踊り、四半的納射が行われました。



五穀豊穣に感謝、すきほぜまつりが開催

11月3日、本庄川河川敷広場で五穀豊穣を祝うすきほぜまつりが開催されました。小学生が参加するまつり恒例のほぜっこ相撲では、小さな力士たちが手に汗握る熱戦を展開。当日は3年ぶりの実施となった赤ちゃん土俵入りや左

近太郎競技などが行われました。まつり会場では、須木米や須木地区内で栽培された甘藷を使った芋焼酎などの特産品のほか、飲食物の販売も行われ、晴天の中、会場は約1千人の来場者でにぎわいました。



Photo 1 ほぜっこ相撲 2 3年ぶりに実施された赤ちゃん土俵入り 3 紅白餅のせんぐまきに盛り上がる会場 4 左近太郎競技 5 まつり参加者対象の抽選会の様子

技能実習生対象の自転車安全教室開催

10月29日、九州ゲンゼ株式会社宮崎工場（細野）で、外国人技能実習生を対象とした自転車安全教室が行われました。小林警察署とあいおいニッセイ同和損保の協力で開催されたもので、参加者は自転車の安全な乗り方や交通ルールなどについて学びました。



東京で「すきブランド」をPR

10月21～27日、東京にある宮崎県のアンテナショップ、新宿みやざき館 KONNE で、すき物産協会が物産販売を行いました。須木で製造した栗や柚子の加工品、今秋収穫の須木米を販売しました。同商品は今冬のギフトセットでも販売を予定しています。



介護の日に地域包括ケア推進サポーターフォローアップ講座を開催

11月11日の介護の日、市内で地域包括ケア推進サポーターのフォローアップ講座が開催されました。講師には株式会社ルネサンスの古下達憲さんを招き、地域包括ケア推進サポーターとして①運動の基礎知識／②「安全・楽しい・効果的」な活動ができるスキル／③こばやしパワーアップ体操などを身につけることを目的に開催されました。



受講したサポーターの栗屋鈴子さんは「どの筋肉に効果がある運動なのか意識しながら体操を行うことの大切さが理解できました」と話しました

台湾の中学生とリモートで国際交流

三松中と南小の児童・生徒が台湾の三星中学校の生徒とリモートで交流しました。国際感覚と視野を広げることなどを目的としたもので、10月28日に行われた三松中の授業では、英語を使い交代で学校紹介を行ったあと、お互いの国の文化などについて質問し合いました。



臓器移植普及を目指しピンバッジ贈呈

10月25日、県腎臓病協議会小林ブロック（東田義夫ブロック長）が臓器移植の普及を目的に、市にグリーンリボンピンバッジを贈呈しました。東田ブロック長は「県内は臓器移植の件数が少ない。多くの人に臓器移植の意思表示をして欲しい」と話しました。



芸術の祭典で文化の秋を堪能 小林市総合文化祭を開催

10月29～30日、11月6日、13日に市総合文化祭が文化会館、中央公民館、市民体育館、野尻町農村環境改善センターで開催されました。絵画や書道などが並ぶ作品展や、芸能祭、音楽祭などが行われ、参加者は日ごろの活動の成果を披露。期間中は5千人以上が会場を訪れ、作品や音楽、芸能などをとおして文化の秋を堪能しました。



1 市民体育館で作品を鑑賞する来場者、2 3年ぶりの開催となったお茶会、3 音楽祭ではハーモニカの演奏や民謡、コーラスなどが披露されました

幸ヶ丘小に児童図書セットを寄贈

10月25日、幸ヶ丘小で（公財）みずほ教育福祉財団による児童図書の寄贈式がありました。寄贈されたのは、生き物の図鑑や点字を学べる本など。同財団は、平成15年度から全国の山間地などの小中学校に図書や運動具を寄贈する活動を行っています。



野尻中濱崎さん全国大会に県代表で出場

10月25日、濱崎智也さん（野尻中3年）が10月29～31日に行われる第20回全国中学生都道府県対抗野球大会に宮崎県代表として出場することを市長に報告しました。濱崎さんはキャッチャーとして、送球の速さなどを買われ県代表14人の中に入りました。



市政発展への顕著な功績をたたえ、故種子田與市さんに功労市民追贈 川畑敏郎さん、橋満進さん、東原祝男さん、堀之内修さんに市民表彰

11月3日、令和4年小林市市民表彰式典が文化会館で行われました。式典では、本市の果樹振興や地域福祉充実に尽力した故種子田與市さんに功労市民を追贈しました。また、産業経済部門で獣医師として畜産振興に尽力した川畑敏郎さん、公共福祉部門で区長や民生・児童委員として地域

住民の生活を支えた橋満進さんと東原祝男さん、教育・芸術・体育・文化部門で教育長などを務め教育・芸術の振興に尽力した堀之内修さんを表彰。受彰者を代表して、堀之内さんが「本日の表彰を契機により一層心を引き締め、豊かな郷土小林のため努力していきたい」とあいさつしました。



功労市民

故 種子田 與市 さん



多年にわたり本市の果樹振興に取り組み、昭和45年に観光農園を開園。安定した果樹農家の経営確立と観光農園設立による地域農業の発展及び担い手の育成に貢献した。また、民生委員児童委員として42年間、地域住民の生活を支え、小林市社会福祉協議会会長を17年間務めるなど要職を歴任し、地域福祉の充実に大きく寄与した。

産業経済部門

川畑 敏郎 さん



宮崎県獣医師会西諸支部役員として、32年間の長きにわたり畜産振興に尽力。平成9年から同23年同会西諸支部長、同21年から同23年同会副会長の要職を務めた。平成12年と同22年に発生した口蹄疫では、獣医師として最前線で自衛防疫対策に参加し、蔓延防止に尽力。畜産行政に携わる関係機関との連携を深めるなど、本市畜産業の発展に貢献した。

公共福祉部門

橋満 進 さん



多年にわたり、民生委員児童委員として、地域住民の生活を支えた。この間、小林市民生委員児童委員協議会福祉部会部会長を12年間務め、円滑な運営に寄与。長年の活動で培った知識と経験は、他の委員の模範となった。また、東方一区長を10年間務めたほか、現在も小林市遺族共助会の会長を務めており、本市の地域福祉の推進に貢献している。

公共福祉部門

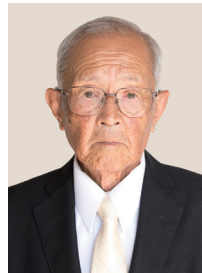
東原 祝男 さん



多年にわたり、民生委員児童委員として、地域住民の生活を支えた。この間、小林市民生委員児童委員協議会副会長として会長を補佐し、円滑な運営に貢献。長年の活動で培った知識と経験は、他の委員の模範となった。また、下九々瀬区長を8年間務めたほか、現在も下九々瀬区友愛クラブの会長を務めており、本市の地域福祉の推進に貢献している。

教育・芸術・体育・文化部門

堀之内 修 さん



教育者として小林商業高等学校長等を歴任するなど、多年にわたり教育現場で活躍。退職後は、昭和63年から小林市教育委員会委員、平成3年から同4年まで同委員長の要職を務め、この間、小林市文化会館の建設を推進し、本市文化芸術の環境整備に尽力した。また、小林史談会の顧問等を長きにわたり務めるなど、多年にわたり本市教育の振興に尽力した。